

中学部 数学科 学習指導案

日 時：令和6年7月10日（水）

10：40～11：30

場 所：中学部棟 1年生教室

対 象：Aグループ 4名

授業者：赤嶺 一字 金澤 祥子

平野 美穂

- 1 題材名 『わくわくスーパー』で、数えた野菜の数を記数したり、野菜をドットと対応させてそろえたりして、スーパーを経営しよう

2 生徒の実態

| 生徒の実態 | |
|-------|--|
| E | <p>【一般的な実態】 CA：13</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間に、特定のキャラクターのカードで遊ぶ。 ・1～10の具体物や数字を比べて多少を正しく答えるが、11以上の数字では間違ふことがあり、具体物同士を対応させて、多い方を正しく答える。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所ごとに取り組む活動を決めておき、同じ流れで繰り返し取り組むと自分で一連の活動に取り組むようになる。 ・様々な動作をする際に、その動作を表す簡単な言葉を言いながら一緒に取り組むと、自分で言葉と動作を対応させながら行うようになることが多い。 ・活動の正誤を視覚的に示すようにすると、自分で正誤判断する。 <p>＜学びに向かう力・人間性等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し取り組んだ課題であれば、誤答しても正答するまで取り組む。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p>＜知識及び技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～10の具体物を正しく数え取ることができる。 ・1～11本のストローのまとまりを提示して何本あるのか問うと、ストローを1本ずつ指で押さえながら「1、2、3、…」と数えた後、ストローの数の合計を正しく書く。 ・22の数字カードを提示してその数のストローをそろえるように伝えたと、ケースに入ったストローを1本ずつ取って「1、2、3、…、12」と数えながら机の上に置き、12本そろえる。 <p>＜思考力・判断力・表現力等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数える具体物の形状などが変わると、数え間違ふことがある。 |
| A | <p>【一般的な実態】 CA：12</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間に、特定の図鑑や絵本を見たり、スライムを手で触ったりすることが多い。 <p>【指導方法に関わる実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に繰り返すことで、決めた仕方で簡単な課題に取り組む。 ・扱う物や課題などの配置が変わると、決めた仕方とは異なる仕方で取り組む。 <p>＜学びに向かう力・人間性等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が言葉をかけたり、具体物を指さしたりすると課題に取り組み始める。 ・3段ボックスに課題を入れて提示すると、課題が終わる度に次の課題を手にする。 <p>【本題材に関する実態】</p> <p>＜知識及び技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤青黄色の三角と四角と丸のカードそれぞれを、分類することができる。 ・はさみやのり、ペンなどの文房具の写真を見て、二つの選択肢から同じ物を選び取ることができる。 ・3個のブロックと1～3個のブロックと同じ大きさの枠を提示し、枠の数だけブロックを置くことを伝えると、すべての枠にブロックを置く。 |

- ・5個のブロックと1～3個のブロックと同じ大きさの枠を提示し、枠の数だけブロックを置くことを伝えると、1個目のブロックを左端の枠に置いた後、2個目のブロックを右端の枠に置くことがある。
- <思考力・判断力・表現力等>
- ・5個のブロックと1～3個ブロックと同じ大きさの1～3個の枠を提示して、枠の数だけブロックを置くことを伝えると、枠の数より多くのブロックを置くことがある。

3 題材目標

| 生徒 | 題材目標 | 学習指導要領の扱う内容 |
|----|---|--|
| E | 知 『わくわくスーパー』で、11～50個の野菜の在庫を確かめる時、数量と対応する数字や位と対応する数量がわかり、数えた10個のタイルをまとめて位取りシートの十の位の枠内に、端数を一の位の枠内に置き、位ごとのタイルを数えて、総数をボードに記数する | 小学部 2段階 A 数と計算 【知識及び技能】 ア (ア) ①ものの集まりと対応して、数詞がわかること。 ②ものの集まりや数詞と対応して、数字がわかること。 |
| | 思 1～50までの数の様々な野菜(具体物)の在庫を確かめる時、位と対応する数量を考え、10のまとまりの数量と端数となる数量を判断し、10個の具体物をまとめて位取りシートの十の位の枠内に、端数を一の位の枠内に置き、具体物の総数をボードに記数する | 【思考力・判断力・表現力】 ア (イ) ③数詞と数字、ものとの関係に着目し、数の数え方や数の大きさの比べ方、表し方について考え、それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。 |
| | 学 野菜を数え取って記数する課題に繰り返し正しく取り組む | 【学びに向かう力、人間性等】 数量に関心を持ち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。 |
| A | 知 『わくわくスーパー』で、決まった数の野菜をそろえる時、対応させはじめる位置と対応させる順番がわかり、1～3個のミカンが左端のドットから順に対応させて置く | 小学部 1段階 A 数量の基礎 【知識及び技能】 イ (ア) ④ものとももの対応させて配ること。 |
| | 思 1～3個のピーマンをそろえる時(5個のピーマンを準備)、対応させる順番を考え、すべてのドットに対応させると判断し、左端のドットから順にピーマンを対応させた後に、対応させたピーマンをまとめて別の容器に移す | 【思考力・判断力・表現力等】 イ (イ) ⑤ものとももの関連付けることに注意を向け、ものの属性に注目し、仲間であることを判断したり、表現したりすること。 |
| | 学 すべてのドットに具体物に対応させて別の容器に移す課題に繰り返し取り組む | 【学びに向かう力・人間性等】 数量や図形に気付き、算数の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。 |

4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載

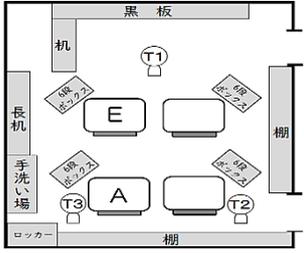
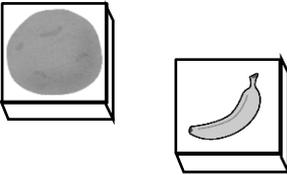
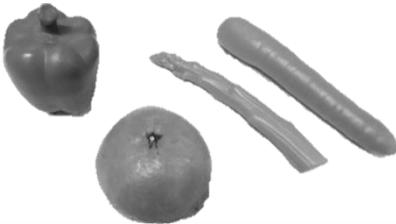
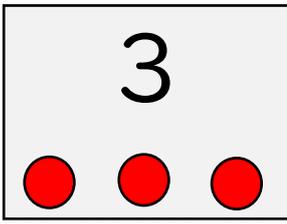
5 本時案 (全8時間の3時間目)

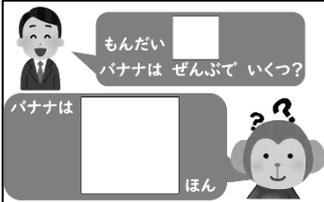
(1) 題目 『わくわくスーパー』で、数え取った野菜の総数を記数したり、野菜を左端のドットから順に対応させて置いたりして、スーパーを経営しよう

(2) 本時のめあてと評価規準

| 生徒 | 観点別の本時のめあて | | 評価規準 |
|----|------------|--|--|
| E | 知 | 『わくわくスーパー』で、11～19個の野菜(半具体物)の在庫を確かめる時、数量と対応する数字がわかり、タイルを一つずつ数え取り10個のタイルをテープで留めて、総数をボードに記数する | 11～19個の野菜のタイルを、支援なしで一つずつ数え取り10のまとまりをテープで留めて、総数をボードに記数する(「2. 展開」場面で扱う6問中4問目以降の3問) |
| | 思 | 1～19までの数の野菜(具体物)の在庫を確かめる時、具体物の数量を考え、数量と対応する数字を判断し、具体物の一つずつ数え取り、総数をボードに記数する | 1～19までの数の野菜を支援なしで一つずつ数え取り、総数をボードに記数する(「3. 発展」場面で扱う6問中4問目以降の3問) |
| | 学 | A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う | |
| A | 知 | 『わくわくスーパー』で、決まった数の野菜をそろえる時、対応させはじめる位置がわかり、1～2個のミカンを左端のドットから順に対応させて置く | 1～2個のミカンを左端のドットから順に対応させて置く(「2. 展開」場面で扱う5問中3問目以降の3問) |
| | 思 | 1～2個のピーマンをそろえる時、対応させはじめる位置を考え、すべてのドットに対応させると判断し、左端のドットから順にピーマンを対応させて置く | 1～2個のピーマンを左端のドットから順に対応させて置く(「3. 発展」場面で扱う5問中3問目以降の3問) |
| | 学 | A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う | |

(3) 場面設定と準備物

| 場面設定 | | | |
|---|--|---|---|
|  | | | 意図と工夫点 友だち同士で取り組む活動や課題についての正誤を伝え合いながら学習を進めることができるように、指導内容や実態を考慮して、一緒に学習を進めることが期待できる生徒の座席を隣り合わせとなるようにした。また、課題に見通しをもって自分から取り組むことができるように、課題を6段ボックスに入れ、机の前に置いて提示する。 |
| 準備物 | | | |
|  |  |  | |
| 教具名： 野菜タイル (E) 意図と用途 物を数え取ったり、数量を捉えたりしやすくするために、野菜シールをはったタイル。「2. 展開」場面で、野菜の総数を記数するために数え取る。 | 教具名： ピーマン、ミカン、アスパラガス、人参などの野菜 (A・E) 意図と用途 数える対象が変わっても物を数えて記数できるようにしたり、身近なものをドットと対応させてそろえたりできるようにするためのプラスチックの野菜。「2. 展開」「3. 発展」場面で野菜の総数を数えて記数したり、ドットと対応させたりするために使用する。 | 教具名： ドットシート (A) 意図と用途 決まった数の野菜をそろえることができるように、数字と数字が示す数量のドットを表示したシートを「2. 展開」「3. 発展」場面で野菜とドットを対応させるために使用する。 | |

| | | |
|--|--|--|
|  |  |  |
| <p>教具名：課題プリント (E)</p> <p>意図と用途 課題に意欲的に取り組み、自分で正誤を判断できるように、表面にキャラクターと課題を、裏面に課題の答えを示したプリントで「2. 展開」「3. 発展」場面で使用する。</p> | <p>教具名：課題スタンド (E)</p> <p>意図と用途 課題の数を視覚的に捉えて見通しをもち、次々と取り組むことができるように、課題プリントを立てるために「2. 展開」「3. 発展」場面で使用する。</p> | <p>教具名：ホワイトボードとペン (E)</p> <p>意図と用途 数えた野菜の総数を書き表すために、「2. 展開」「3. 発展」場面で使用する。</p> |
|  |  |  |
| <p>教具名：テープ (E)</p> <p>意図と用途 10 個の野菜タイルがまとまった数量が視覚的に捉えられるように、10 個数える度に数えた野菜タイルにはり、10 個のタイルのまとまりを作るために「2. 展開」場面で使用する。</p> | <p>教具名：ケース (E)</p> <p>意図と用途 野菜が 10 個でまとまったことが視覚的に捉えられるように、10 個数える度に数えた野菜を入れ、10 個の野菜のまとまりを作るために「3. 発展」場面で使用する。</p> | <p>教具名：6 段ボックスと課題ケース (A・E)</p> <p>意図と用途 課題に見通しをもって取り組むことができるように、課題ケースを入れたボックスを机の前に提示する。</p> |

(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載

4 題材計画

| 生徒 | | | 一次 | 二次 | | | | 三次 | | |
|-------|----------|---|--|--|--|--|--|---|--|---|
| | 時数 | | 1 | 2 | 3 (本時) | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| E | 知識・技能 | 場面 | 野菜を数える活動に興味・関心と見通しをもち、本題材の課題を知る | 11～19 個の | | 『わくわくスーパー』で 10～50 (一の位が0) 個の 野菜 (半具体物) の在庫を確かめる時、 | | 11～50 個の | | |
| | | わかること | | 数量と対応する数字 に目を向け がわかり | | 十の位の数量 がわかり | | 位と対応する数量 に目を向け がわかり | | |
| | | できた姿 | | タイルを一つずつ 教師と一緒に数え取り 数え取り 10 個のタイルをテープで留めて、総数をボードに記数する | | 数えた 10 個のタイルをまとめて位取りシートの十の位の枠内に 置き それらを 10 とびで数える | | 端数を一の位の枠内に置き 教師と一緒に 位ごとのタイルを数えて、総数をボードに記数する | | |
| | 思考・判断・表現 | 具体的状況 | 1～19 までの数の 野菜 (具体物) の在庫を確かめる時 | | 10～50 (一の位が0) 個の 野菜 (具体物) の在庫を確かめる時 | | 1～50 までの数の 様々な野菜 (具体物) の在庫を確かめる時 | | 位と対応する数量を考え、10 のまとまりの数量と端数となる数量を判断し、10 個の具体物をまとめて位取りシートの十の位の枠内に、端数を一の位の枠内に置き、具体物の総数をボードに記数する | |
| | | 表出像 | 具体物の数量を考え、数量と対応する数字を判断し、具体物を一つずつ数え取り 10 個でまとめてケースに入れ、総数をボードに記数する | | 十の位の数量を考え、10 の数量のまとまりを判断し、数えた 10 個の具体物をまとめて位取りシートの十の位の枠内に置き、それらを 10 とびで数える | | | | | |
| 主体的な姿 | 粘り強さ | <input type="checkbox"/> 自分から次の課題を取りに行く展 発 <input type="checkbox"/> 自分の学習した内容を友だちや教師の前で発表する終 | | | | <input type="checkbox"/> すべての課題を終えるまで取り組む展 発 <input type="checkbox"/> 不正解のときに自分から課題をやり直す展 発 | | | | |
| | 学習調整 | | | | | <input type="checkbox"/> 野菜を数え取って記数する課題に繰り返し正しく取り組む展 発 | | | | |
| A | 知識・技能 | 場面 | 野菜をそろえる活動に興味・関心と見通しをもち、本題材の課題を知る | 『わくわくスーパー』で、決まった数の野菜をそろえる時、 | | | | | | |
| | | わかること | | 対応させはじめる位置 に目を向け がわかり | | 対応させる順番 に目を向け がわかり | | | | |
| | | できた姿 | | 1～2 個のミカンを 教師が指し示す左端の ドットに対応させて置く | | 2～3 個のミカンを 教師が指し示す 2 個目と 3 個目のドットに 順に対応させて置く | | | 1～3 個のミカンを 左端のドットから | |
| | 思考・判断・表現 | 具体的状況 | 1～2 個のピーマンをそろえる時 (3 個のピーマンを準備) | | | | 1～3 個のピーマンをそろえる時 (3 個のピーマンを準備) (5 個のピーマンを準備) | | | |
| | | 表出像 | 対応させはじめる位置を考え、すべてのドットに対応させると判断し、左端のドットから順にピーマンを対応させて置く | | | | 対応させる順番を考え、すべてのドットに対応させると判断し、左端のドットから順にピーマンを対応させて置く 対応させた後に、対応させたピーマンをまとめて別の容器に移す | | | |
| 主体的な姿 | 粘り強さ | <input type="checkbox"/> 6 段ボックスの課題ケースを自分から手に取る展 発 <input type="checkbox"/> すべてのドットに具体物を対応させて置く展 発 | | | | <input type="checkbox"/> すべてのドットに具体物を対応させて別の容器に移す課題に繰り返し取り組む発 | | | | |
| | 学習調整 | | | | | | | | | |

※「学びに向かう力・人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」の項目で観点別学習状況の評価のみを記載する。個人内評価をする部分については、授業の振り返りや個別の教育支援計画等で実施し、今後反映することとする

(4) 展開

| 学習活動 | 教師の意図と働きかけ | |
|---|---|---|
| | E | A |
| 1. 本時の学習活動を知り、意欲をもつ。【導】 | <p>○本時の活動や取り組む課題がわかるように、黒板に掲示した活動内容と顔写真カードを指し示したり、6段ボックスに入った課題ケースを提示したりして、本時の活動を知らせる。</p> <p>○意欲をもって活動に取り組むことができるように、キャラクターが注文した野菜をそろえることができた場合に使用するキャラクターのイラストを提示する。</p> | <p>○6段ボックスに入った課題ケースを取って課題に取り組みはじめた場合には、自分から課題に取り組んだことを認め、イラストを指し示して、すべての課題を終えたらスーパーの経営がうまくいくことを伝える。</p> <p>□6段ボックスの課題ケースを自分から手に取るか（自）</p> |
| 2. 数え取った野菜（タイル）の総数を記数したり、野菜を左端のドットから順に対応させて置いたりする。【展】 | <p>○数量と数字の関係に目を向け、数えた野菜の総数を正しく記数できるように、11～19個の野菜を提示し、野菜を数えて記数することを伝えて様子を見る。野菜を一つずつ数え取り、10個の野菜をテープで留めて、総数をボードに記数することができた場合には、野菜の総数を書き表せたことを認め、10個の野菜のまとまり、端数の野菜の順に指さした後、数字を提示して数量と数字との関係を意味づける【6問中4～6問目】。</p> <p>・数量とは異なる数字を記数した場合には、数量と対応する数字がわかるように、10個の野菜のまとまり、端数の野菜の順で、一緒に数え直した後、それぞれを表す数字を書くことを伝える。</p> <p>○自分から次の課題を取りに行った場合は、イラストを提示してすべての課題に取り組むことで、スーパーの経営がうまくいくことを知らせる。</p> <p>□自分から次の課題を取りに行くか（自）</p> | <p>○自分で左端のドットからミカンを対応させ、決まった数のミカンをそろえることができるように、ミカンとドットシートを提示し、ミカンを対応させてそろえるように伝える。1個目のミカンが左端のドットに対応させ、すべてのドットにミカンを対応させて置くことができた場合には、左端のドットから対応させたことを認め、そのよさを意味づける。</p> <p>・1個目のミカンが右のドットに対応させた場合には、対応させはじめる位置がわかるように、左端のドットを教師が指さして、ミカンを再度そろえるように伝える。</p> <p>□すべてのドットに具体物を対応させて置いているか（続）</p> |
| 3. 数え取った野菜（具体物）の総数を記数したり、左端のドットから順に野菜を対応させて置いたりする。【発】 | <p>○数える対象が変わっても、数量と対応する数字を判断して記数できるように、1～19までの数の野菜を提示し、野菜を数えて記数することを伝えて様子を見る。野菜を一つずつ数え取り、10個でまとめてケースに入れて、総数をボードに記数することができた場合には、野菜の総数を書き表せたことを認める【6問中4～6問目】。</p> <p>・野菜を数え取った後に、端数の野菜10個のまとまりの野菜の順に数える場合には、位には数える順番があることがわかるように、10個の野菜のまとまり、端数の野菜の順で指さした後、それぞれを表す数字を書くことを伝える。</p> <p>・数え間違えた場合には、数え取る具体物の数と数唱とが一致するように、具体物を指さしながら一緒に数えた後、野菜を再度数えることを伝える。</p> <p>□自分から次の課題を取りに行くか（自）</p> | <p>○そろえる対象が変わっても、左端のドットから順に、すべてのドットに対応させることができるように、ピーマンとドットシートを提示し、ピーマンを対応させてそろえるように伝える。1個目のピーマンが左端のドットに対応させ、すべてのドットにピーマンを対応させて置くことができた場合には、左端のドットから順にすべてのピーマンを対応させることができたことを認める。</p> <p>・1個目のピーマンが右のドットに対応させて置いた場合には、対応させはじめる位置がわかるように、左端のドットを教師が指さして、ピーマンを再度そろえるように伝える。</p> <p>□すべてのドットに具体物を対応させて置くか（続）</p> |
| 4. 本時の成果を振り返り、次時への意欲をもつ。【終】 | <p>○本時の成果を振り返ったり、共有したりすることができるように、挙手をして発表することを伝え、できるようになったことを意味づけながら本時の成果を認める。</p> <p>○次時への意欲がもてるように、次時で数えたり、そろえたりする野菜を提示し、次時の学習活動の予告をして本時を終える。</p> <p>○学習した内容について振り返ることができるように、友だちや教師の前で学習したことを伝える。野菜を数えて記数する活動に取り組んだ場合には、学習した内容を意味づけて認める。</p> <p>□自分の学習した内容を友だちや教師の前で発表するか（振）</p> | |